

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/04/29

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	37.01	-0.02
JPY/THB	0.2337	-0.0042
USD/JPY	158.33	2.68
EUR/THB	39.58	-0.16
EUR/USD	1.0693	-0.0037
USD/CNH	7.269	0.013
SGD/THB	27.16	-0.08
AUD/THB	24.17	0.04
USD/INR	83.35	0.02
USD Index	105.94	0.34

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.579	0.027
10Y (THB)	2.772	0.022
5Y (USD)	4.687	-0.032
10Y (USD)	4.663	-0.041

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,334.8	5
WTI (Oil)	83.85	0.28
Copper	9,965.5	100.5

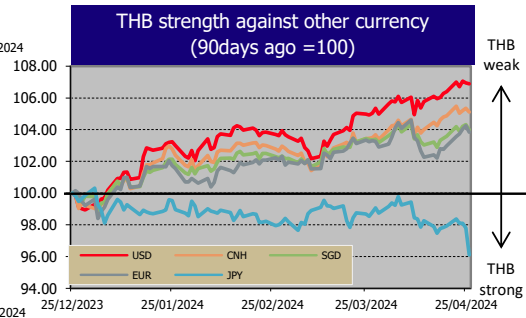
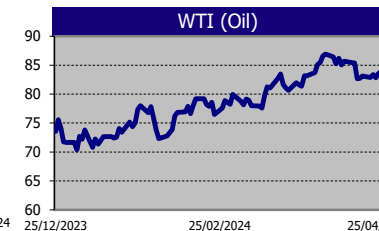
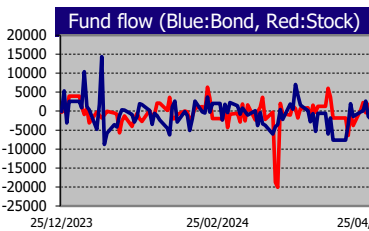
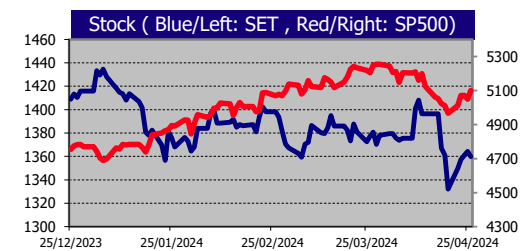
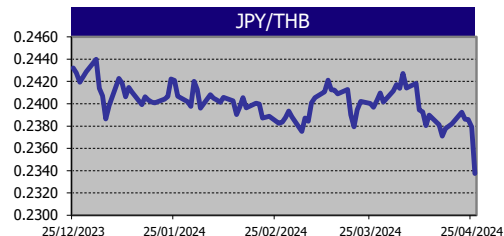
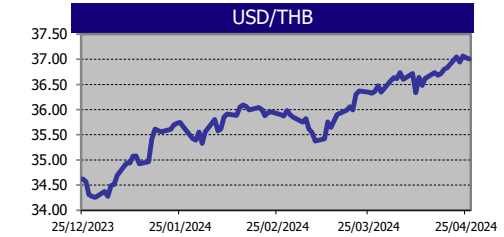
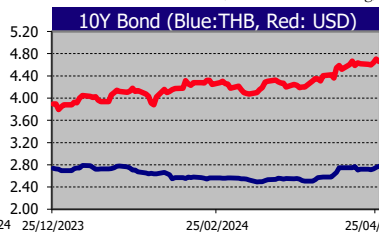
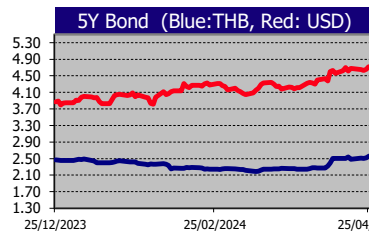
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,359.94	-4.33
NIKKEI (JP)	37,934.76	306.28
DOW (US)	38,239.66	153.86
S&P500 (US)	5,099.96	51.54
SHCOMP (CN)	3,088.64	35.74
DAX(GER)	18,161.01	243.73

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(823)	-2619.0
Bond net flow	(2,038)	-647.6

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

26日のドルパーツはほぼ変わらず。37パーツちょうど付近で取引を開始。前日発表された良好な米経済指標の影響は限定的でタイ時間正午まで小動き。ソンクラン休暇以降ドルパーツが大きく上昇したため、週末を前に利食いが入って37パーツを割り込んだ水準で海外時間へ渡った。海外時間に発表された米3月コアPCEはほぼインライン。また、ミシガン大消費者信頼感指数も強弱混交だったが、1年先期待インフレ率の上振れで低下していた米金利が下げ止まると、ドルパーツもNY時間終盤にかけて下げ幅を縮小。37.01と前日比ほぼ変わらずで終えた。

●ドル円その他

26日のドル円は大きく上昇。155円台半ばで取引を開始。日銀会合では政策金利の現状維持を決定。同時に発表された展望レポートでは24年度と25年度の物価上昇率見通しが引き上げられたが、当面緩和的なスタンスが維持されるとの表現がなされたことで156円付近へ水準を切り上げた。海外時間、ドル買い・円売りの流れが継続する中で米1年先の期待インフレ率上昇もドル買いを更に後押し。ドル円は158円台まですると上昇し、158.33で越週した。

Bangkok Dealer's Eye

4/30と5/1にFOMCが開催されます。ブラックアウト期間中に発表された米経済指標は、総じてFRBがスタンスを軟化させるには時期尚早だと彼らに思わせる内容でした。直前となる先週末に発表された米3月コアPCEはインラインだったものの、米ミシガン大消費者信頼感指数における1年先期待インフレ率は昨年11月以来の水準まで回復しています。こうした物価関連指標が予想比で底堅い結果となるほど、FRBがフォワードガイダンスでハト派な内容を出すことが難しくなり、より市場参加者がヒントをつかみにくくなるものと思います。3月FOMC以降、インフレ面での進展はほぼ見られていないという評価が妥当なところであり、引き続きデータ次第という声明文になると予想しています。現状、市場における5月と6月FOMCでの利下げ予想はほぼなく、当面アジア通貨に対するドル高が継続するものとして、為替の手当を検討した方が良さそうです。(鈴木)